　　　　　　　　　　　　　　　　　　≪授業づくり確認シート≫　自分の立場で授業や児童への対応を確認してください。

評価基準　４（よい）　３（だいたいよい）　２（やや不十分）　１（不十分）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  | 項　目 | 評　価 |
| 子ども  理解 | １ | 実態把握 | 実態把握は、行動観察や引き継ぎ資料、標準化された検査法等で客観的に実施しているか。 | ４－３－２－１ |
| ２ | 目標設定 | 目標設定は、教育支援計画や指導計画を反映し、実態把握に基づいて行っているか。 | ４－３－２－１ |
| ３ | 目標の内容 | 目標は、具体的かつ単一で、評価できる指標が含まれているか。（表情、視線、注視、身体の動き、発語、筋緊張等） | ４－３－２－１ |
| ４ | 評価の基準 | 評価の基準は、適切に設定されているか。 | ４－３－２－１ |
| ５ | 好き嫌い | 児童の反応を促進させるきっかけを理解しているか。（快・不快の反応、好きな言葉、好きな活動等） | ４－３－２－１ |
| ６ | 注意 | 障害理解、禁忌事項、配慮事項は熟知しているか。（医ケア、医療機器、発作等も含む） | ４－３－２－１ |
| ７ | 共通理解 | 児童について、教師同士で共通理解しているか。 | ４－３－２－１ |
| 環境 | ８ | 環境設定 | 活動しやすい環境設定であるか。（動線の工夫、道具等の配置、温度、湿度、明暗等） | ４－３－２－１ |
| 教師の  姿勢 | ９ | 当日の配慮 | 実態に応じた配慮を行っているか。（体調面、心理面、言葉遣い、態度、立ち位置、目線、身の回りの安全等） | ４－３－２－１ |
| 10 | 待つ | 児童を見守り、児童の反応を「待つ姿勢」ができているか。 | ４－３－２－１ |
| 11 | 共感 | 児童の気持ちを汲み取ったり、寄り添ったり、共感的な言葉かけをしているか。 | ４－３－２－１ |
| 授業 | 12 | 内容 | 授業内容は適切であるか。（実態、興味関心、発展性など） | ４－３－２－１ |
| 13 | 活動保証 | 集団として取り組むよさとともに、一人一人の活動も保証されているか。 | ４－３－２－１ |
| 14 | 教材・教具 | 教材・教具は適切であるか。（学習に参加しやすい道具の工夫、扱いやすさ、固定する工夫、ＩＣＴ機器、視覚教材等） | ４－３－２－１ |
| 15 | 隊形 | 指導の隊形や場所は、場面に応じた工夫がなされているか。（半円形、円形、スクール型、畳間等） | ４－３－２－１ |
| 16 | 時間・量 | 学習時間や学習量は、児童の体調、集中力が持続する時間の長さを考慮しているか。 | ４－３－２－１ |
| 17 | 待ち時間 | 待ち時間は長すぎないか。 | ４－３－２－１ |
| 支援の  工夫 | 18 | Ｔ・Ｔ | ＣＴとＳＴにおいて、授業の流れや役割分担、児童の実態把握は確認できているか。 | ４－３－２－１ |
| 19 | 支援 | 支援の方法、タイミング、量は適切であるか。 | ４－３－２－１ |
| 20 | 距離感 | 教師と児童の配置は適切であるか。（距離感、場所、高さ、立つ位置等） | ４－３－２－１ |
| 21 | 姿勢 | 児童の姿勢、ポジショニングは適切であるか。（見やすさ、動きやすさ、楽な姿勢、姿勢変換、除圧） | ４－３－２－１ |
| 22 | 言葉かけ | 声をかける位置、声のトーン、大きさ、速さ、明瞭度、分かりやすさ、単純明快な言葉の選択、  意思を確認する言葉かけ、示唆する言葉等に配慮できているか。 | ４－３－２－１ |
| 23 | 接し方 | 児童への触れ方や動かし方は、適切であるか。 | ４－３－２－１ |
| 24 | 視覚教材 | 視覚教材は、見やすい背景や大きさ、理解しやすい内容の工夫、児童が分かりやすい提示の仕方や見せ方がなされているか。 | ４－３－２－１ |
| 25 | ほめる | 児童の頑張り（努力、成果、態度）に気づき、すぐに適切に称賛・評価することができているか。 | ４－３－２－１ |